

事前にいただいたご意見と区の方考え方

平成30年度生野区区政会議(第2回全体会)

番号	発言者	ご意見等	回答者	回答
1	室谷委員	<p>御幸森小学校は、長年にわたって取り組んできた多文化共生教育が認められ、ユネスコスクールに認定されています。</p> <p>この実績に対し、生野区区政会議では資料すら紹介されていないがどのように考えているのでしょうか。</p> <p>また、御幸森小学校は生野区西部地域学校再編整備計画の統合の対象校となっているが、ユネスコスクールは今後どういう計画になっているのでしょうか。</p>	<p>清水区政推進担当課長</p> <p>井平地域活性化担当課長</p>	<p>区政会議は、ニア・イズ・ベターによる考え方のもと、区役所が実施する施策について、委員である区民等から直接ご意見をいただく場となっております。</p> <p>御幸森小学校は、ユネスコ憲章に示されたユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の理想を実現するために、平和や国際的な連携を実践する学校として、2012年に、市内の公立学校としては初めてのユネスコスクールに認定されており、多文化共生教育をはじめとした各種活動に取り組んでいるところです。</p> <p>御幸森小学校は学校再編の対象校となっておりますが、ユネスコスクールの理念や取組を継承し、大池中学校区における小中一貫した教育の中で充実を図ってまいります。</p>
2	山本委員	<p>生野区は共生の街と言われていますが、平成26年9月に開催された区政会議で、生野区の外国籍別人口の統計をご回答いただきました。</p> <p>その時の回答の数字を再度示していただき、併せて直近の統計を教えてください。</p> <p>4年間でどのように変化したのかを知りたいと思います。</p>	橋本企画総務課長	平成26年8月末現在と平成30年8月末現在の外国人住民国籍別人口の対比については別紙のとおり事務局でお調べしましたのでご確認ください。
3	中川委員	<p>・多文化共生について 交流の機会を増やすことについて賛成だが、問題はまちのどのような人がそこに参加するのか。 まちづくりに興味のあるメンバーだけでなく、一般の人を引き込むのにどうすればいいか。 (町会を運営している方とか) tatami talk(タタミトーク)は面白いですね。</p>	—	—
4	中川委員	<p>・災害時の対応についての意見について もっと区にこうしてほしいという意見が多いが、民間が自ら「災害時の情報を得る」仕組みを作るという意思も大切ではないか。 SNSやインターネットを介した情報に頼らなくても良い方法としてコミュニティFMが上がっているが、例えばそれを自分たちで作ってみれば良いのではないだろうか。まちの中にはその方面に詳しい人が必ずいるはずで、辿っていけば必ず道がある。普通の人を集めてそれを実現することが「まちの力」なのではないだろうか。 また、そういう意味で防災を機に自分や家族を守るため、スマホを持ったりラインを始めてみるのもひとつの道だと思う。 災害はいつ何時やってくるかわからないので、受け身に情報を得るだけではかならず出遅れてしまう。基本的には自分たちで自分の身を守らないといけないものと考えます。</p>	—	—

番号	発言者	ご意見等	回答者	回答
5	中川委員	<p>・子育ての取り組みに関して いくすく子ネットのような事業があるのはとても素晴らしいことだし、それにより救われるお母さんはいると思う。 あとは、このような事業がいくつも生まれることが望ましい。組織や事業にはかならず色がつくので、その色を好むか好まないかによって参加しにくさが生まれたりもする。 そういった事業がいくつか生まれたときに現在の「いくのde育～の」のようなサイトがそれぞれの団体からの情報発信ができるポータルサイトになり効果をより発揮していくと思う。</p>	—	—
6	中川委員	<p>・学校再編に関して 時代が移り変わる中で人口が減り、教育の質を守る為に学校を統合するというのは合理的な手段だと思う。その決断の主たる影響を受けるのは子どもたちであり、我々大人ではない。 疲弊する地域がでてくるとの声もあるが、結局なにもしなければ今のままでは生野区は子育て世代の住む地域として選ばれることはなくなり、そうなれば結局人口を保てなくなり本当の意味で人々が愛する「地元」は消滅していく。その地に生まれた人だけで人口を保てるような時代ではもうないのはすべての人がわかっていることであろう。 畢竟、この命題の中核は感情の問題になるのと思う。我々が共有し得る価値観のひとつに「無常」というものがある。どのような事も同じ形を保って存在し続けることはできない。これは自然界の摂理で、世を貫く真理に他ならない。未来を紡ぐためには変化を選ばねばならない時が必ずくるのではないか。 おそらく、いまこのタイミングで学校再編がなければ向こう10年以上は行われず、結果生野区は高齢人口が上がり子育て世代と十代の人口が極端に少ない地域になっていくだろう。そして歴史と伝統を知り語り継ぐものもいなくなる。 以上が私の意見ですが、現状維持を選ぶ方が、未来が良い方向に向かうといういい方法やご意見があれば、ご教示いただければありがたいです。</p>	—	—

外国人住民国籍別人員調査月報

No.	国籍	平成30年8月末日現在			平成26年8月末日現在			増減(平成30年－平成26年)		
		男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
1	韓国 及び 朝鮮	10,345	11,855	22,200	11,518	13,262	24,780	-1,173	-1,407	-2,580
2	中国	1,156	1,255	2,411	801	865	1,666	355	390	745
3	ベトナム	1,081	833	1,914	333	207	540	748	626	1,374
4	台湾	157	226	383	60	96	156	97	130	227
5	ネパール	94	41	135	21	5	26	73	36	109
6	フィリピン	25	98	123	30	65	95	-5	33	28
7	米国	59	23	82	38	22	60	21	1	22
8	インドネシア	47	32	79	19	15	34	28	17	45
9	スリランカ	29	16	45	4	1	5	25	15	40
10	タイ	11	28	39	10	23	33	1	5	6
11	ミャンマー	13	15	28	0	1	1	13	14	27
12	インド	20	7	27	2	1	3	18	6	24
13	ブラジル	17	7	24	16	5	21	1	2	3
14	オーストラリア	13	4	17	8	5	13	5	-1	4
15	フランス	13	4	17	3	3	6	10	1	11
16	マレーシア	12	5	17	4	2	6	8	3	11
17	英国	11	5	16	5	2	7	6	3	9
18	ブータン	11	4	15	0	0	0	11	4	15
19	ガーナ	15	0	15	9	0	9	6	0	6
20	ナイジェリア	14	0	14	13	0	13	1	0	1
21	ペルー	7	7	14	10	8	18	-3	-1	-4
22	カナダ	7	5	12	7	5	12	0	0	0
23	イタリア	9	3	12	6	3	9	3	0	3
24	バングラデシュ	6	0	6	3	2	5	3	-2	1
25	モンゴル	2	3	5	1	1	2	1	2	3
26	パキスタン	5	0	5	0	0	0	5	0	5
27	ロシア	1	3	4	0	3	3	1	0	1
28	ドイツ	2	1	3	1	1	2	1	0	1
29	イラン	2	1	3	0	0	0	2	1	3
30	スウェーデン	2	1	3	1	0	1	1	1	2
31	シンガポール	2	1	3	0	3	3	2	-2	0
32	カンボジア	2	0	2	1	1	2	1	-1	0
33	アイルランド	2	0	2	1	1	2	1	-1	0
34	イスラエル	2	0	2	1	0	1	1	0	1
35	ジャマイカ	0	2	2	2	0	2	-2	2	0
36	ラオス	0	2	2	0	1	1	0	1	1

No.	国籍	平成30年8月末日現在			平成26年8月末日現在			増減(平成30年－平成26年)		
		男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
37	オランダ	1	1	2	0	1	1	1	0	1
38	ニュージーランド	2	0	2	2	0	2	0	0	0
39	ポーランド	2	0	2	2	0	2	0	0	0
40	ルーマニア	0	2	2	0	2	2	0	0	0
41	サウジアラビア	2	0	2	0	0	0	2	0	2
42	スペイン	2	0	2	0	0	0	2	0	2
43	トルコ	2	0	2	3	1	4	-1	-1	-2
44	ウズベキスタン	0	2	2	0	1	1	0	1	1
45	アルジェリア	1	0	1	0	0	0	1	0	1
46	アルゼンチン	0	1	1	0	0	0	0	1	1
47	コロンビア	0	1	1	0	2	2	0	-1	-1
48	コンゴ共和国	1	0	1	1	0	1	0	0	0
49	チェコ	1	0	1	0	0	0	1	0	1
50	ケニア	1	0	1	0	0	0	1	0	1
51	カザフスタン	1	0	1	0	0	0	1	0	1
52	リトアニア	1	0	1	0	0	0	1	0	1
53	メキシコ	0	1	1	1	1	2	-1	0	-1
54	シエラレオネ	1	0	1	0	0	0	1	0	1
55	スーダン	1	0	1	0	0	0	1	0	1
56	エジプト	0	1	1	0	0	0	0	1	1
57	ウクライナ	1	0	1	0	1	1	1	-1	0
58	ジンバブエ	0	1	1	0	0	0	0	1	1
59	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1	0	1	1	0	1	0	0	0
60	南アフリカ共和国	0	0	0	0	1	1	0	-1	-1
61	チュニジア	0	0	0	1	0	1	-1	0	-1
62	スイス	0	0	0	1	3	4	-1	-3	-4
63	モルドバ	0	0	0	0	1	1	0	-1	-1
64	モロッコ	0	0	0	1	0	1	-1	0	-1
65	フィンランド	0	0	0	1	0	1	-1	0	-1
66	キューバ	0	0	0	1	0	1	-1	0	-1
67	無国籍	1	0	1	1	0	1	0	0	0
68	不詳	4	4	8	7	3	10	-3	1	-2
総計		13,220	14,501	27,721	12,951	14,626	27,577	269	-125	144